

最適給与
クラウド

複雑な給与シミュレーションを、 誰でも簡単に。

在職老齢年金や雇用継続給付の調整、給与逆算、
賃金構造基本統計調査との比較など、
給与決定に欠かせないシミュレーションをワンストップで実現。



多様な働き方に合わせ、さまざまな場面で活用できる“最適な給与設計”を

- ✓ 新規採用
- ✓ 賃金比較
- ✓ 継続雇用
- ✓ 残業削減

こんなお悩みありませんか？

60歳以上の雇用



- ✓ 雇用継続給付と年金の併給計算が大変 ...
- ✓ 65歳からの在職老齢年金の計算をしたい ...
- ✓ 雇用継続給付をシミュレートしたい ...

給与シミュレーション



- ✓ 手取り額を指定して基本給を逆算したい ...
- ✓ 基本給を指定して手取りを計算したい ...
- ✓ 自社の給与水準を地域や同業種の平均額と比較したい ...

残業時間が減らない



- ✓ 残業時間を減らしたい ...
- ✓ 部署の総人件費を減らしたい ...
- ✓ 新しくヒトを採用した方がいい ...
- ✓ 何人採用すればいいかわからない ...

人生100年時代



- ✓ 60歳以降も働き続けた場合、給与の総額は？
- ✓ 入社してから退職するまでの給与総額は？
- ✓ 数年間働いた場合の給与総額を計算したい ...

\ 最適給与クラウドにお任せください //

企業の健全な発展には、会社も労働者も納得できる「最適な給与」が求められます。自社の給与体系の分析と多角的な給与シミュレートによって「納得解=最適給与」に近づくアプローチをおこなう。そのアプローチを可能にするサービスが「最適給与クラウド」です。

60歳以降の賃金設定



給与逆算



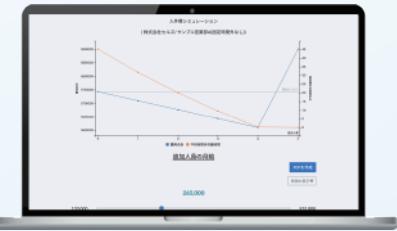
賃金プロット



雇用継続給付シミュレーション



人件費シミュレーション



生涯賃金シミュレーション

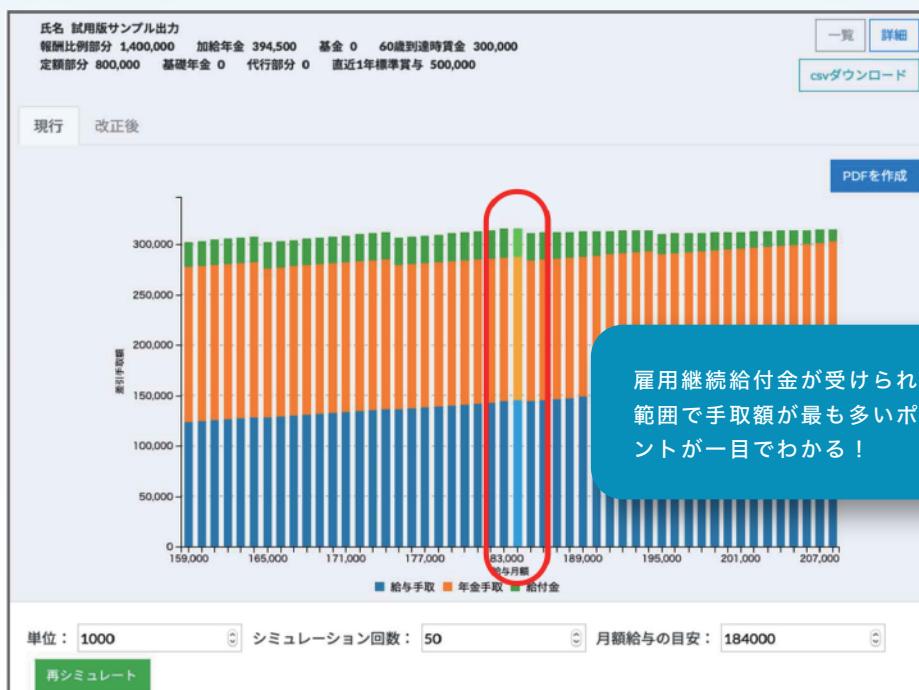


60歳以降の賃金設定

定年を60歳に設定し、65歳まで1年毎の継続雇用制度を運用している企業は多く存在します。

最適給与は、在職老齢年金制度、雇用継続給付制度、そして給与の3本立てを上手く活用して、労働者も企業も納得できるような賃金を約400パターン計算し、ベスト38を瞬時に表示します。給与からは所得税、社会保険料等が控除され、支給額によっては年金にも所得税がかかるため、本人手取額は総支給額と必ずしも比例しません。

雇用継続給付が受けられる範囲で給与と在職老齢年金を調整し、本人の手取額が一番多くなる給与額を見つけます。



雇用継続給付シミュレーション

雇用継続給付シミュレーションは、60歳到達時賃金に基づき、賃金月額の低下による給付金の変動をシミュレーションする機能です。

あなたの60歳到達時登録賃金は200000円です。 賃金月額が150000円(60歳時の75%)未満に低下した場合に支給の対象となります。 賃金が122007円の時、給付金は最高額の18301円になります。				
低下率	給与	給付金	支給率	総額
75.00%	150,000円	0円	0.0%	150,000円
72.50%	145,000円	3,262円	2.3%	148,262円
70.00%	140,000円	6,538円	4.7%	146,538円
67.50%	135,000円	9,801円	7.3%	144,801円
65.00%	130,000円	13,065円	10.1%	143,065円
62.50%	125,000円	16,337円	13.1%	141,337円
61.00%	122,007円	18,301円	15.0%	140,308円
60.00%	120,000円	16,000円	13.0%	136,000円
57.50%	115,000円	17,250円	15.0%	132,250円
55.00%	110,000円	16,500円	15.0%	128,500円
52.50%	105,000円	15,750円	15.0%	123,750円
50.00%	100,000円	15,000円	15.0%	115,000円
47.50%	95,000円	14,250円	15.0%	109,250円
45.00%	90,000円	13,500円	15.0%	103,500円
42.50%	85,000円	12,750円	15.0%	97,750円
40.00%	80,000円	12,000円	15.0%	92,000円

雇用継続給付金が最高額になる
賃金が一目でわかる！

業務量が多く残業が減らない部署を改革するには？

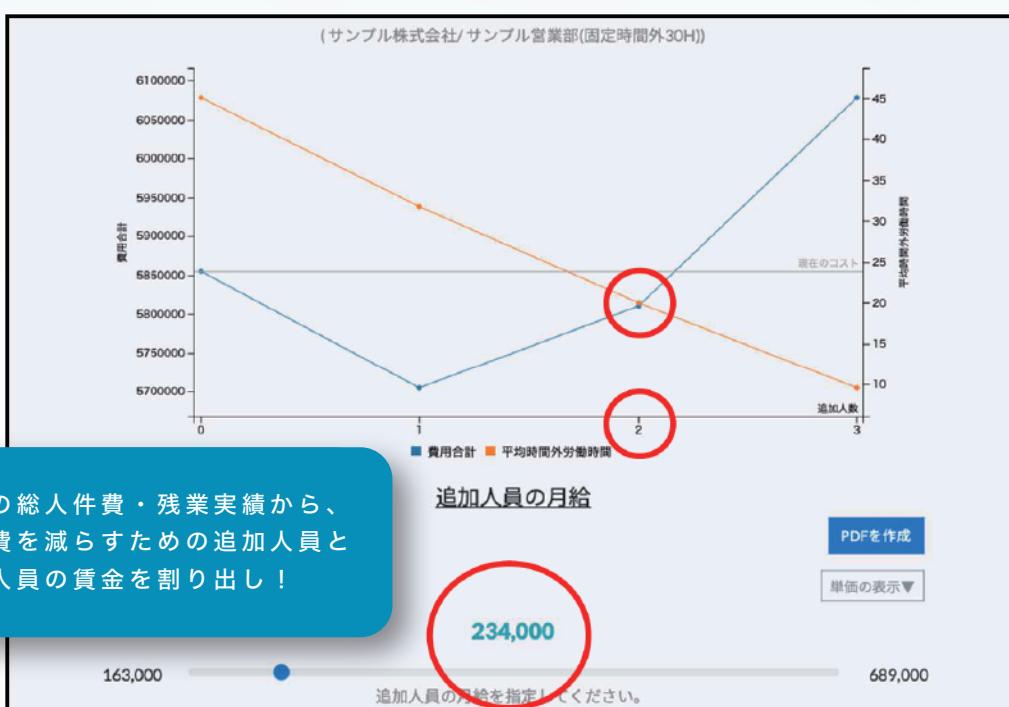
長時間労働対策は、働き方改革の施策の一つです。人間の脳は、起床して13時間以内が集中力を発揮でき、集中力が切れた脳は酒気帯びと同程度の集中力しか保てない、などの研究結果も出ています。

過労死などの問題により、昨今、残業に対する社会のイメージは変化していますが、業務の合理化に対応できていない会社・部署は、残業削減が進まない傾向にあります。

このように仕事の進め方に変化を起こせず残業代が増え続けている場合は、新たにヒトを採用して残業の削減を図るという選択肢があります。

最適給与は、残業時間や残業手当の合計値を入力し、現在の部署内総人件費の範囲内で何人採用できるかをシミュレートできます。

残業体質から脱却し、新たにヒトを採用して残業削減に舵をとっていくための提案資料が作成できます。



現状分析											
最適月給	344,000	固定時間外消化率	88.78%								
最適単価	1,674	固定時間外フル活用(A)	5,749,089								
現在の費用（実績）	5,854,650	差額（実績-A）	105,561								
入力情報の表示▼											
シミュレーション結果詳細											
	合計				追加人員の費用	既存人員の費用	その他手当				
追加人員数	人件費計	費用合計	実績との差額	平均時間外労働	追加人員の費用合計	既存社員の費用合計	深夜手当				
0人	5,654,650	5,854,650	0	45.08	0	5,852,505	2,145				
1人	5,491,170	5,704,503	-150,147	31.77	274,332	5,428,026	2,145				
2人	5,583,661	5,810,327	-44,323	20.01	534,666	5,273,516	2,145				
3人	5,837,661	6,077,660	223,010	9.57	801,999	5,273,516	2,145				

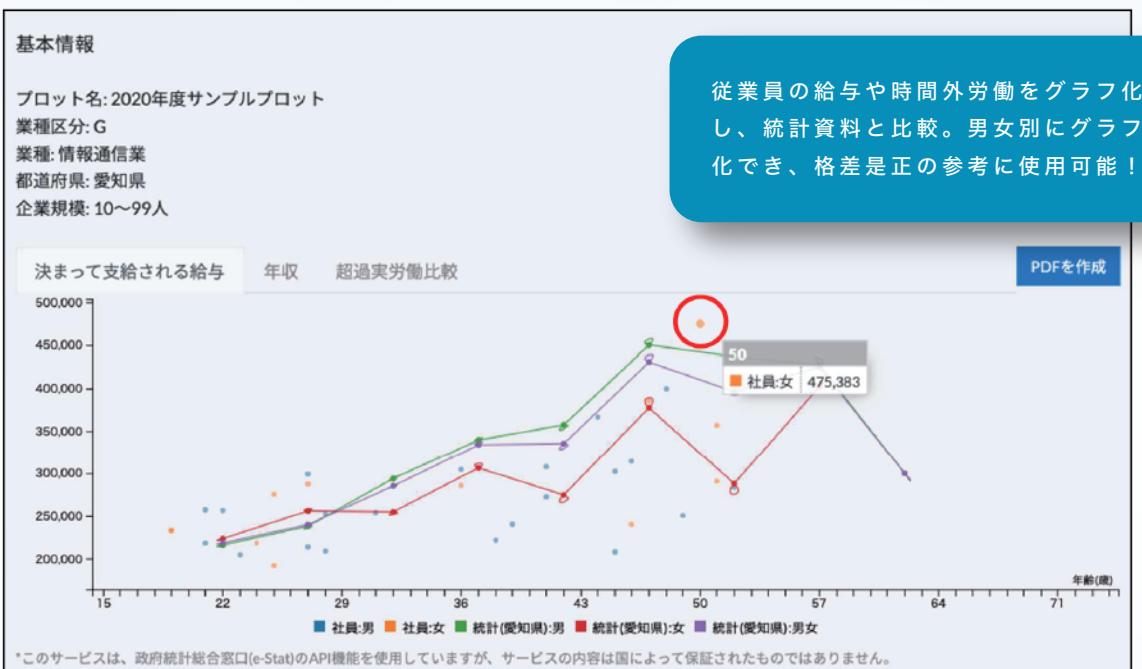
従業員定着・採用活動に欠かせない賃金把握・分析

いつの時代も、「現在の従業員の給与は、高いのか？低いのか？」という問題はつきものです。世間相場と比較して給与が低いようであれば、従業員が定着せず転職してしまう可能性があります。

現状の自社の賃金構造を把握するために、1か月分の給与支給控除データ(CSVデータ)を読み込むことで、厚労省の賃金構造基本統計資料と比較した賃金プロット資料を瞬時に作成できます。

世間相場との給与比較を定期的に行うことで、従業員が給与について不満を持つのではないかというリスクを洗い出すことができます。

身体の不調を気づくために行う健康診断のように、給与が原因で離職する従業員に気づくために「賃金把握」を行いませんか？



「手取りを〇円にしたい」「基本給が〇円だったら」をすぐにシミュレート

〇円以上の手取りを保証するには基本給がいくらなのか、基本給が〇円の場合、手取りはいくらなのか、給与計算の結果をイメージをしながら会社にとっても本人にとっても最適な給与がいくらなのかを考える設計業務は、企業の人事部にとって大事な業務です。

職場は様々な雇用形態の人々によって構成され、給与体系の設計や変更をする前には、色々な給与体系を事前にシミュレートしておく必要があります。

中途採用時や、育児・介護で100%フル出社できない社員の給与設計は、人事部の腕の見せ所。最適給与の給与逆算機能は、一度シミュレートした結果を並列に並べ、計算結果を確認しながら最適な給与を選択できます。

#1 手取額から基本給逆算
PDF 削除

基本給: 294,329円
手取額: 250,000円
会社負担合計: 336,363円

詳細

支払い項目	金額	控除項目	金額	会社負担項目	金額
基本給	294,329円	健康保険	14,220円	給与	294,329円
課税手当1	0円	介護保険	0円	健康保険	14,220円
課税手当2	0円	厚生年金	24,087円	介護保険	0円
課税手当3	0円	厚生年金基金	0円	厚生年金	24,087円
課税手当4	0円	雇用保険	882円	基金	0円
課税手当5	0円	社会・労働保険計	39,189円	雇用保険	1,765円
課税手当6	0円	課税支給額	0円	子供子育て	1,080円
非課税手当	0円	所得税	5,140円	労災保険	882円
課税計	294,329円	住民税	0円	社会・労働保険計	42,034円
非課税計	0円	その他控除	0円	合計	336,363円
総支給額	294,329円	控除合計	44,329円		
		差引手取額	250,000円		

扶養人数: 1人
標準報酬月額: 300,000円

#3 手取額から基本給逆算

基本給: 277,155円
手取額: 230,000円
会社負担合計: 322,601円

#2 手取額から基本給逆算

基本給: 287,517円
手取額: 240,000円
会社負担合計: 333,057円

詳細

複数パターンのシミュレーションをおこなっておけばワンクリックで詳細を呼び出せる！

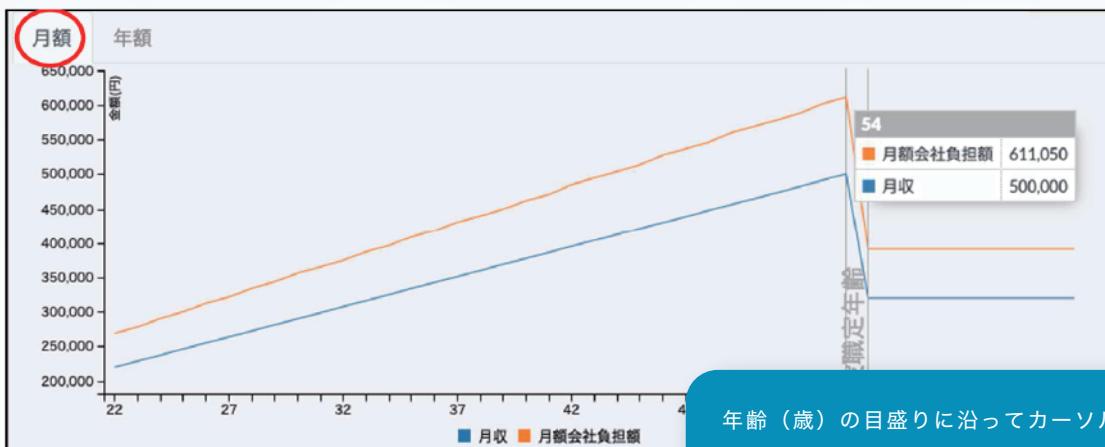
入社してから退社するまでの「生涯賃金」を求める

終身雇用と年功序列の給与体系を見直す企業や新卒採用を廃止する会社が増えています。

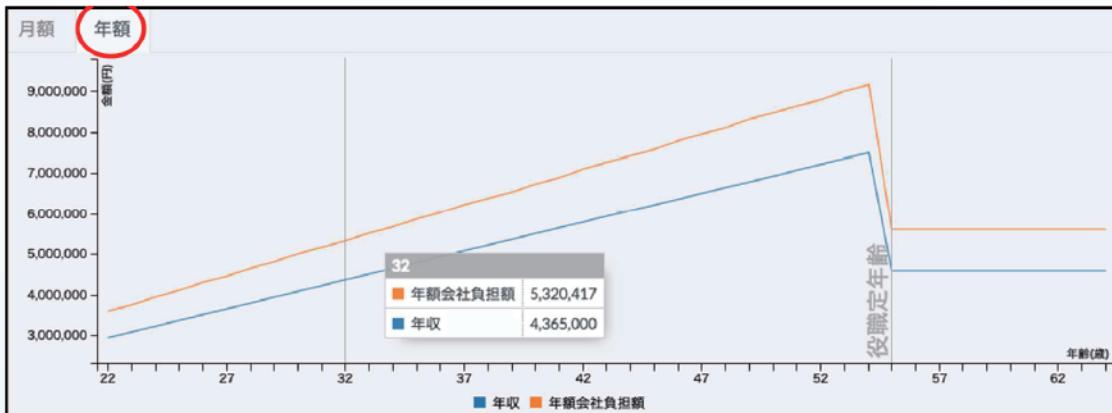
高いパフォーマンスを発揮する従業員に好待遇を提示する事例が増え、会社も雇用される側も1年単位の人事費シミュレートではなく、複数年働いた場合の人事費シミュレートもセットで計算する機会が増えています。

最適給与の生涯賃金機能は、入社時と定年時の給与を入力し、一定の金額で昇給するとみなした生涯賃金をシミュレートします。

入社してから退社するまで毎年変化していく数字は年収です。入社してから退職するまでの給与総額や会社負担額がいくらなのかを把握する際、大変役立ちます。退職時的人事費確認にも利用できます。



年齢（歳）の目盛りに沿ってカーソルを合わせると、その年齢時点での会社負担額や月収／年収が確認可能！



提供パターン

	試用版	有料版
料金	無料 (どなたでも利用可)	利用料金 33,000円/年(税込) 初期設定費 11,000円(税込)
提供機能	社員情報等データ保存のみ (シミュレーション結果はサンプル表示)	全機能
利用期間	—	決済から1年間
お支払方法	クレジットカード決済のみ	

動作環境

下記のWEBブラウザのみを動作保証環境といたします。

Windows	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版
macOS	Google Chrome 最新版 Safari 最新版

※動作保証環境においても、お使いの端末、ブラウザとOS、プラグインの組み合わせ等により一部表示不具合や一部機能がご利用になれない場合がございます。

※タブレット、スマートフォンは動作保証対象外です。



まずは試用版をご利用ください /
最適給与クラウド  OR
<https://www.saiteki-kyuyo.jp>



お気軽にお問い合わせください

セルズ 

info@cells.co.jp

株式会社セルズ

〈小牧本社オフィス〉〒485-0014 愛知県小牧市安田町190
〈名古屋オフィス〉〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル5階
〈東京オフィス〉〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-2 田澤日本橋ビル5階
〈大阪オフィス〉〒530-0016 大阪府大阪市北区中崎2丁目1-4 嶋野ビル 502号室